musashi

取扱説明書

No.PG-160

この度は、ムサシ　伸縮式　ガーデンバリカンセットをお買い上げいただき厚く御礼申し上げます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機をよくご理解したうえで、お取り扱いいただけますよう、お願い申しあげます。この取扱説明書は大切に保管してください。

各部名称

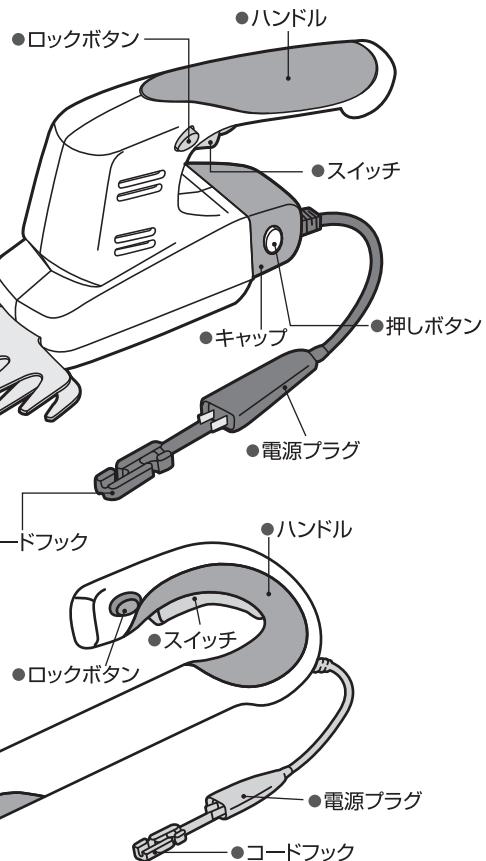
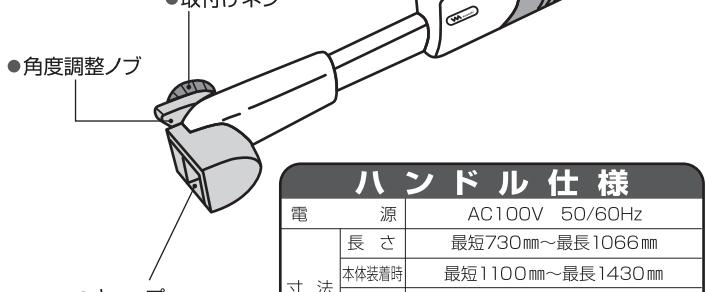
本体

●ロックボタン
●ハンドル
●スイッチ
●アジャスター
●可動刃
●キャップ
●押しボタン
●可動刃ケース
●電源プラグ
●コードフック

●スライダー

●キワ刈りガイド

伸縮ハンドル

●ハンドル
●スイッチ
●ロックボタン
●電源プラグ
●コードフック
●ブレーキレバー
●取付けネジ
●角度調整ノブ
●キャップ

ハンドル仕様

項目		仕様
電源		AC100V　50/60Hz
寸法	長さ	最短730㎜～最長1066㎜
	本体装着時	最短1100㎜～最長1430㎜
	幅	110㎜
	高さ	180㎜
重量		約700g
電源コード		2心キャブタイヤコード300㎜

本体仕様

項目		仕様
電源		AC100V　50/60Hz
消費電力		80W
ストローク数		毎分1250回
モーター		DC100Vハイボルテージモーター
連続使用時間		約20分
刈り込み幅		160㎜
刈り高さ		10㎜／15㎜／25㎜
寸法	長さ	300㎜
	幅	160㎜
	高さ	125㎜(スライダー装着時140㎜)
重量		約950g
電源コード		2心キャブタイヤコード300㎜
最大切断径		直径3㎜(木の種類により変わる場合があります)

安全上のご注意

警告

●安全のために、取扱説明書をお読みください。
●必ず注意事項を守ってご使用ください。
間違った方法で使用されますと、重大な事故となる恐れがあります。

■ 作業は常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
無理な姿勢で作業すると転倒して危険です。

■ 感電に注意してください。
電線を切らないでください。雨中や湿った場所で使用しないでください。

■ 作業にあった服装で作業してください。
長袖、長ズボン、運動靴の服装で作業してください。

■ 防護メガネを着用してください。
作業時は、生垣の刈り込み時の刈った枝葉が飛散しけがをする恐れがありますので、防護メガネを着用してください。

■ 可動刃が動いているときは、手、足など絶対に触れないでください。
けがの恐れがあります。

■ ご使用前に電源コードや本体が損傷していないか点検してください。
感電やけがの恐れがあります。

■ 交流（AC）100V以外では使用しないでください。
直流（DC）電源やエンジン発電機などを使用すると、感電や火災を起こす恐れがあります。

■ 20分以上使用する場合は、途中に10分以上休憩を取って手や指、また本機を休ませてください。
手がしびれハクロウ症の原因になる恐れがあります。
また本機のモーターも休ませてください。加熱して故障の原因になります。

■ 持ち運びのときは、スイッチに触れないようにしてください。
可動刃が動き、けがの恐れがあります。

■ 可動刃が動いているときは、かみ込んだ枝や異物を取り除かないでください。
けがの恐れがあります。

■ 芝生と新芽の刈り取り以外の使用はしないでください。
可動刃の寿命が短くなったり、モーターが加熱し故障やけがの恐れがあります。

■ 子供に使わせないでください。
やけど、感電、けがの恐れがあります。

■ 使用後、可動刃が錆びないように、必ず機械油（ミシン油、自転車油など）を注油してください。
可動刃の寿命が短くなります。

■ 使用しない場合は、乾燥した場所で、子供が勝手に触れない場所に保管してください。
けがの恐れがあります。

■ 本機の異常に気が付いたときは、点検修理に出してください。修理はお買い求めの販売店までご依頼ください。
修理の知識のない方が修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

ご使用前の準備

① 作業にあった服装の着用
●長袖、長ズボン、運動靴の服装で、防護メガネを着用してください。

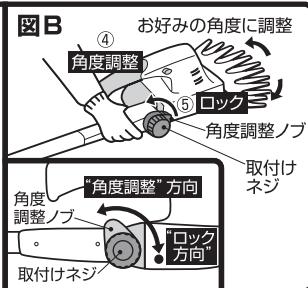
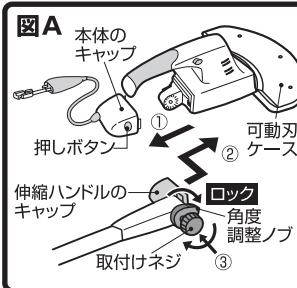
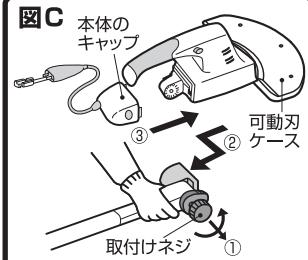
② 本体の点検
●可動刃のカケ、変形、割れ、異物のかみ込みがないかを確認してください。
●電源コードや本体に損傷がないか確認してください。

③ 作業場所の点検
●刈り込みを行う場所に障害物や電線がないか確認してください。

取付け方・使い方

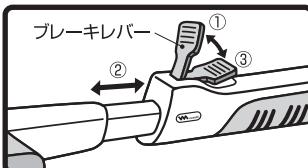
伸縮ハンドルの取付け方

警告 ●必ず電源プラグをコンセントから抜き刃に可動刃ケースを付けてください。

図A ①本体のキャップの左右の押しボタンを押しながら、キャップを取外します。
②伸縮ハンドルのキャップを本体に真っ直ぐ奥まで差込みます。
③角度調整ノブを**ロック**方向に止まるまで回します。取付けネジを押し込みながらしっかりと締め付けます。
※本体を固定できるまで締めます。

図B ④角度調整ノブと取付けネジと一緒に**角度調整方向**に止まるまで回し、本体をお好みの角度に調整します。
⑤角度調整ノブと取付けネジと一緒に**ロック**方向に止まるまで回し、本体を固定します。
※本体の固定がゆるい場合は、再度取付けネジを締めます。

伸縮ハンドルの取外し方

図C ①伸縮ハンドルの取付けネジを"**ポンッ**"と飛び出すまでゆるめます。
②図にある位置を握って伸縮ハンドルを抜き取ります。
③本体のキャップを奥まで差込みます。

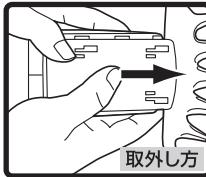
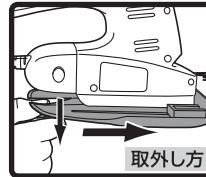
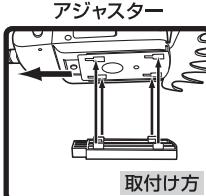
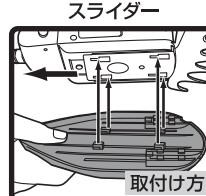
ポールの長さの伸縮調整

①ブレーキレバーを上げ、ブレーキを解除します。
②好みの長さにポールを伸縮します。
③ブレーキレバーを下げ、ポールを固定してください。

スライダー、アジャスターの取付け方

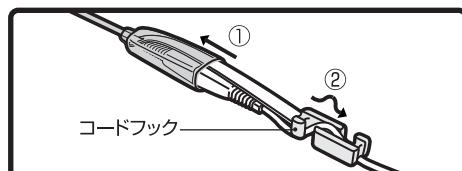
⚠警告 ●必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

① 刈り高さ 10 ㎜…本体のみ
② 刈り高さ 15 ㎜…本体＋スライダー
※本体底面の４つ穴にスライダーの４つの爪を差し込み、矢印方向に奥までスライドさせ取付けます。
③ 刈り高さ 25 ㎜…本体＋アジャスター＋スライダー
※本体底面にアジャスターを先ほどの②と同じ要領で取付け、アジャスターにスライダーを取付けます。

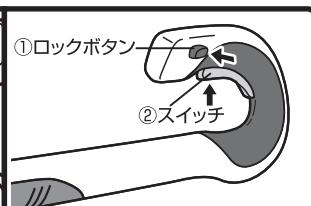
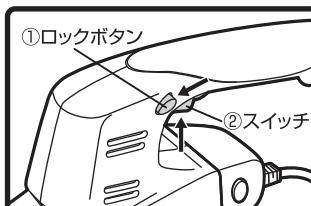
スライダー、アジャスターの取外し方

① スライダーはOPEN凹部を下方向に反らし矢印方向スライドさせ外します。
② アジャスターはOPEN凹部を親指で矢印方向に強くスライドさせ外します。

コードフックの取付け

⚠警告 ●必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

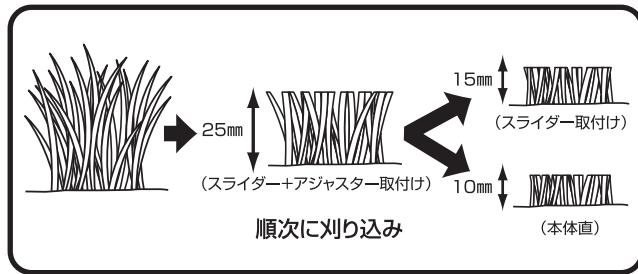
①電源プラグを延長コードに差込みます。
②延長コードをコードフックに引っ掛けます。

スイッチのON（入れる）,OFF（切る）

①赤のロックボタンを押しながら
②緑のスイッチを引くとスイッチがON（入れる）になります。
③緑のスイッチを放すとOFF（切る）になります。

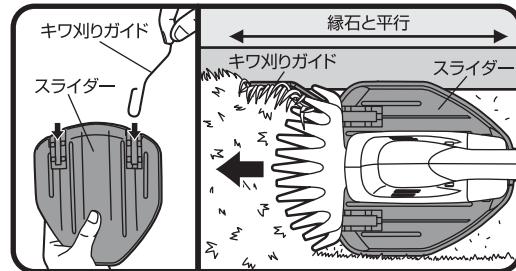
注意 **伸縮ハンドルを使用時は、本体側のスイッチを入れても作動しません。**

きれいな刈り込み方

長くのびた芝生の刈り込みの注意

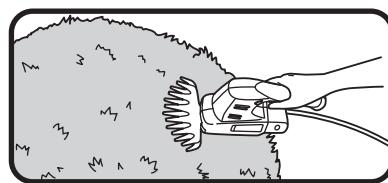
●長くのびた芝生は日をおいて順次刈り込みます。
※刈り込み高さの調整は付属のスライダーとアジャスターの取付けで調整できます。

注意
●長くのびた芝生を一度で刈り込むと、刈込み刃の負担が大きくかかり、刃の切れ味が悪くなり、故障の原因になります。また同時に芝生を枯らす恐れもあります。

芝生のキワの刈り込み方

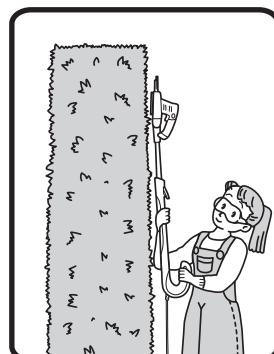
●縁石などのキワ刈は、刈込み刃の跳ね返りを防ぐためスライダーを付けます。
●付属のキワ刈りガイドは縁石に当たるのを防ぎ、またキワの芝生を起こし刈り込みをスムーズにします。
縁石側の外向きに差込みます。

注意
●縁石に刃を当てると故障の原因になります。砂、石、土等をかみ込むと、刈込み刃を傷め、切れ味が低下し、また故障の原因にもなります。

庭木の新芽の刈り込み方

●庭木新芽の刈り込む時は、あらかじめ、太い枝や硬い枝は剪定鋏などで切ってから刈り込みます。

注意
●細い新芽以外の刈り込みをしないでください。モーターがロックしたり回転が遅くなるような使い方はしないでください。モーターの故障の原因になります。

伸縮ハンドルを使用した刈り込み方

立って芝生の刈り込み

高い面、奥面の新芽の刈り込み

可動刃に異物などが挟まると直ちにスイッチをOFF

※可動刃に異物などが挟まった場合、可動刃、モーターが動かなくなります。直ちにスイッチを “OFF” の状態にしないとモーターが加熱し故障の原因になります。

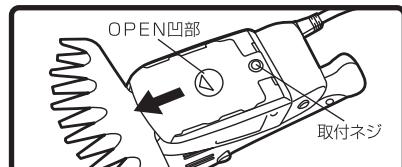
① 直ちにスイッチを “OFF” の状態にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
② 手袋を着用し、可動刃に挟まったもの を取り除きます。③ 電源プラグをコンセントに差込み、スイッチを入れてください。

●**小石などを挟み刃に傷がつくと切れ味が低下します。ダイヤモンドヤスリなどで刃のエッジを研磨してください。**

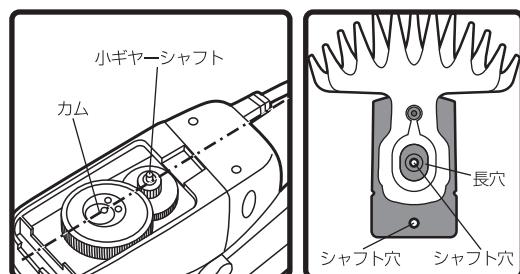
可動刃の交換

可動刃の取外し方

●必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●素手で作業するとけがの恐れがありますので、必ず手袋を着用して行ってください。

① 裏蓋の取付けネジを百円玉またはドライバーで外しＯＰＥＮ凹部を親指で矢印方向にスライドさせて裏蓋を外し、可動刃を取外します。

可動刃の取付け方

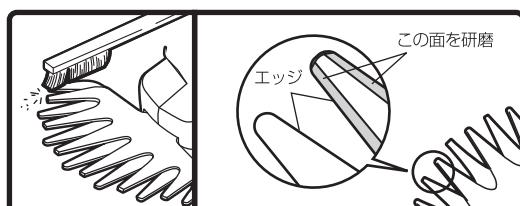
① 本体のカムを手で回し、小ギヤーシャフトとカムがイラストのように真っ直ぐの位置になるようにします。
② 刈込み刃はシャフト穴と長穴の中心を合わせます。
③ 刈込み刃の２個のシャフト穴に本体の２本のシャフトが確実にささるように刈込み刃を取付けます
④ 裏蓋を取付け、取付けネジを取付けます。

注意 ●**裏蓋が取付けられない時は刈込み刃が確実につけられていません。最初からやり直してください。**

お手入れ

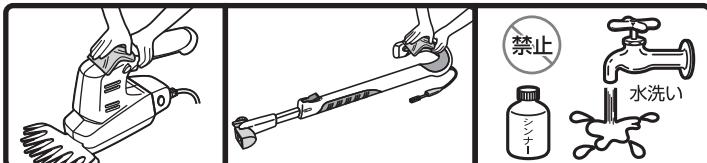
●お手入れの前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●保管は乾燥した場所で、子供が勝手に触れない場所に保管してください。

可動刃のお手入れ

① 作業後はワイヤーブラシ等で刈込み刃の両面の汚れを落とし、布で拭き取ります。潤滑油を十分に差します。
② 切れ味が低下したり、刃が傷がついた時は、刈込み刃を本体から外し、刃のエッジをダイヤモンドヤスリで研磨します。

●**上刃と下刃のすり合わせ面は研磨しないでください。**

本体のお手入れ

①通常は乾いたやわらかい布で軽くふきます。
②汚れがひどいときは薄めの台所用中性洗剤を含ませた布でふきます。

●**水洗いやシンナーなどの使用はしないでください。**

替刃のお買い求めについて

※替刃は、直接弊社へご注文くださればお送りいたします。

No. G-160B ガーデンバリカン用替刃　¥3,675（消費税・送料込み）

但し、代金前払いでお願いします。郵便切手でもけっこうです。

故障かな？と思ったら

症　状	考えられる原因	処　置
作動しない。	可動刃に異物などが挟まっている。	可動刃に挟まった異物などを取り除きます。 可動刃に異物などが挟まると直ちにスイッチを OFF を参照。
	電源コードと延長コード、または電源プラグがコンセントから外れている。	正しく接続する。
	電源コードか延長コードが断線している。	電源コードか延長コードが切断されていないか確認。
切れ味が悪い。	可動刃の割れ、カケ、変形、サビ	ダイヤモンドヤスリ等で研磨する。 新しい可動刃に交換。 替刃のお買い求めについて を参照。
延長コードが電源プラグからすぐ抜けてしまう。	コードフックを使用していない。またはコードフックの取付け方を間違っている。	コードフックの取付け を参照。